

# 振り返りと支援の継続



「情報共有シート」「話し合い記録シート」と「あしあとシート」で振り返りを蓄積しましょう

〈 1回目の話し合いの後で 〉

## 1 児童生徒の様子を記録する

1回目の「話し合い記録シート」に入力した「評価日」までに、手立てを実施した後の児童生徒の様子について、「情報共有シート」の「情報を共有したい具体的なエピソード」に記録しましょう。

〈 2回目の話し合いで 〉

## 2 実施した手立てについて振り返る

児童生徒の様子を振り返りながら、1回目の「話し合い記録シート」の「手立て実施後の児童生徒の様子」の欄に記録します。

「改善が見られた」「改善が見られなかった」のどちらかをプルダウンで選択します。児童生徒の様子だけではなく、教員が実施した手立ても振り返り、「手立てを継続する」「手立てを変更する」のどちらかをプルダウンで選択します。

有効だった手立てやうまくいかなかったこと、一度でもうまくいったことなどを記録し、次の手立てのヒントを蓄積しましょう。



## 3 2回目の「話し合い記録シート」を使って話し合う

話し合いたいことを明確にし、2回目の「話し合い記録シート」に記録しながら話し合いを進めましょう。

## 4 「あしあとシート」に記録する

「あしあとシート」の「②支援の手立ての実施状況」の欄に、「継続」「変更」などをプルダウンで選択し、記録しましょう。「①話し合いや連携の状況」に追加する情報があった場合は、追記しましょう。

※3回目以降も同様の流れを繰り返し支援を継続します。

〈 年間を通して 〉



## チームで共有する

話し合った内容を、チームで共有しましょう。継続する手立てや、有効だった手立てを確認し、児童生徒の成長を複数の教員で共有しましょう。



## 「あしあとシート」に支援の手立てを蓄積する

定期的に振り返り、「あしあとシート」に記録します。年度末には、必要な支援や適切な指導について引き継ぐ情報を整理しましょう。有効だった手立てや効果的に行われた支援など、「あしあとシート」に記録して蓄積し、次年度への引き継ぐことができます。進学や就労の際にも、取り組んだ手立てや役割分担を引き継ぐことが、切れ目ない支援につながります。